

まちづくり交付金 事後評価シート  
中氷鉋地区

平成22年3月

長野県長野市

様式2-1 評価結果のまとめ

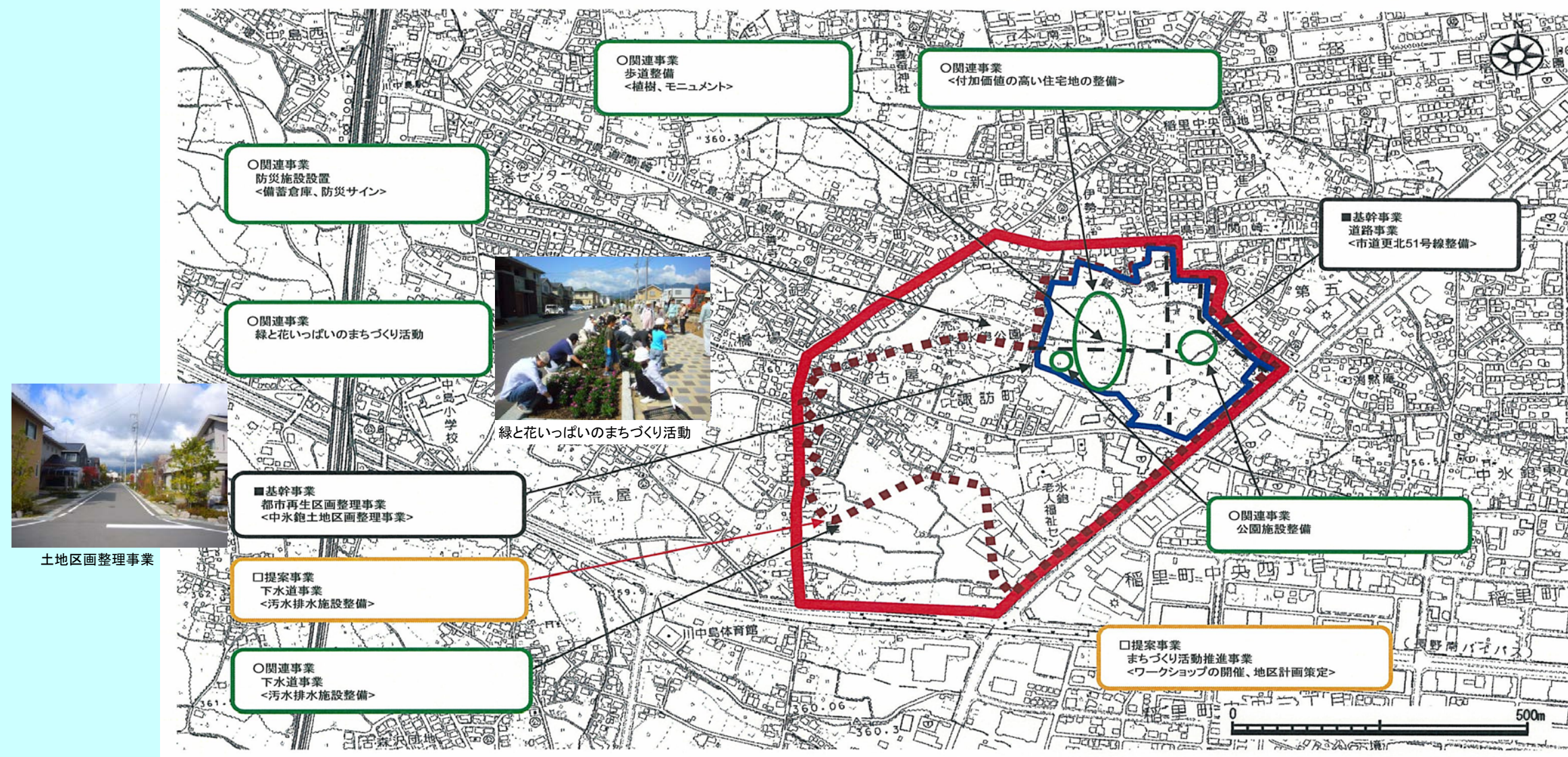
都道府県名	長野県		市町村名	長野市		地区名	中水鉋地区			面積	41ha		
交付期間	平成18年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	687.2百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	土地区画整理事業(中水鉋地区)									
			提案事業	地域創造支援事業(下水道事業)、まちづくり活動推進事業(ワークショップ(地区計画策定))									
	当初計画から削除した事業		事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			基幹事業	地域生活基盤施設(備蓄倉庫・耐震性貯水槽、風力・太陽発電灯整備、案内板・防災サイン整備)、高質空間形成施設(ピオトープ、公園施設整備(植栽・緑化施設)、歩道整備(植栽・モニュメント等))				土地区画整理組合に事業主体を変更(関連事業へ移行)			影響なし		
			提案事業	地域創造支援事業(緑と花いっぱいのもちづくり活動)				土地区画整理組合に事業主体を変更(関連事業へ移行)			影響なし		
			新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道更北51号線)				生活道路の機能拡充のため追加			一部の指標に関係するが、数値目標は据え置き	
交付期間の変更		当初	平成18年度～22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
		変更	平成18年度～21年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	地区内定住世帯数	世帯	230	H18	330	H21	モニタリング	評価値	○	ありなし	生活基盤の整備に加え、地域活動を支援する等総合的な取り込みが奏功した。	平成22年5月頃
	指標2	地域自治活動実施数	回	0	H18	10	H21			○	ありなし	新旧住民が一体となった地域活動を実施した結果、住民意識が高揚した。	平成22年5月頃
	指標3	災害時等の安全度	%	18	H18	100	H21			○	ありなし	避難路と防災施設の一体的な整備により、安全・安心な居住環境が確保できた。	平成22年5月頃
	指標4	良質な水環境との共生度	ppm	2.5	H17	2.0	H21			○	ありなし	下水道事業が当初予定どおり完了し、用水路の水質が改善された。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	・本計画の実施を通して、行政や住民のまちづくりに対する意欲が大きく向上した。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	まちづくり協議会(地区計画策定)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地元自治体等による違反建築物の監視と市による地区計画届出時の建築内容の審査との連携により、良好な住環境の維持を図る。					
	持続的なまちづくり体制の構築	地域美化活動を通じたコミュニティの創造(緑と花いっぱいのもちづくり活動)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後、活動の主体を地域自治会に移行し、さらなるコミュニティ活動の充実、発展を図る。					



## 様式2-2 地区の概要

### 中水鉤地区(長野県長野市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標名	単位	数値	年度	数値	年度	数値	年度
目標1: 快適で安全な暮らしの創出をめざした良好な住環境の創造を目指す 目標2: 地域自治が主体となった美化活動などを通じ、コミュニティの継承及び再形成を目指す 目標3: 生活環境と地域アメニティの向上並びにやすらぎのある憩いの場の創出を目指す 目標4: 「環境にやさしいまち」の実現を目指す 目標5: 防災機能の向上と地域自治における防犯対策を強化し、安心・安全のまちづくりを目指す	地区内定住世帯数	単位: 世帯	230	H18	330	H21	380	H21
	地域自治活動実施数	単位: 回	0	H18	10	H21	10	H21
	災害時等の安全度	単位: %	18	H18	100	H21	100	H21
	良質な水環境との共生度	単位: ppm	2.5	H17	2.0	H21	2.0	H21



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生整備計画に掲載されたインフラ整備が、予定どおり完了し、良好な居住環境が確保された。</li> <li>・付加的要素の強い住宅地が整備された結果、若年層の定住が促進され、世代間のバランスが改善した。</li> <li>・コミュニティを創造、発展させる観点から、新旧住民が一体となった地域活動を実施した結果、地域自治会活動が活発に行われるようになった。</li> <li>・計画区域内の下水道整備が完了し、用水路への生活排水の流入が抑えられたため、地区の環境衛生面が改善した。</li> <li>・土地区画整理事業に合わせて、防犯灯や街灯を整備したことにより、夜間の安全性が向上した。</li> <li>・災害時の避難場所である水鉤公園への連絡道路の整備により、安全な避難路が確保された。</li> <li>・土地区画整備事業に合わせて、備蓄倉庫や防災サイン等の防災施設が整備され、災害時の安全性が向上した。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティの創造については、一定の事業成果があったことから、今後は、地域活動を継続、発展させるという視点からの取り組みが必要である。</li> <li>・地域が主体となって実施する、まちの維持、管理に関わる計画策定に対して支援を行う。</li> </ul>